

な か ま



本校は、令和4年度と5年度、文部科学省から「人権教育に関する研究校」としての指定を受けています。今年度は、研究主題を「豊かな人間性や自尊感情を育成する人権教育～互いの違いやよさを認め合い、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成～」に設定し、児童、教職員、そして保護者の皆様とともに、人権に関する意識を高め、よりよい児童の育成、より過ごしやすい学校・家庭・地域づくりにつなげていくために様々な取組をしています。

その一環として人権教育に関する本校の活動を伝えるための人権だよりを発行しています。第6号では、11月と12月に行ったハッピースマイルデーと人権週間についてお伝えします。

◎ハッピースマイルデー「クリスマスのかざりを作ろう」 11月21日(火)

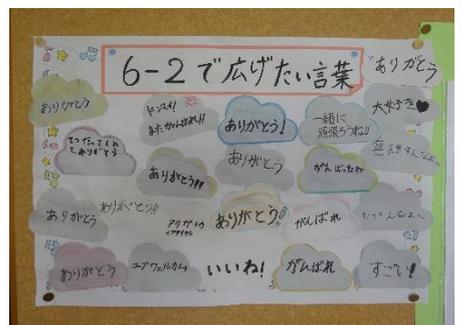
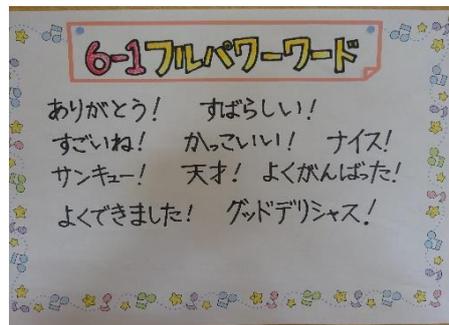
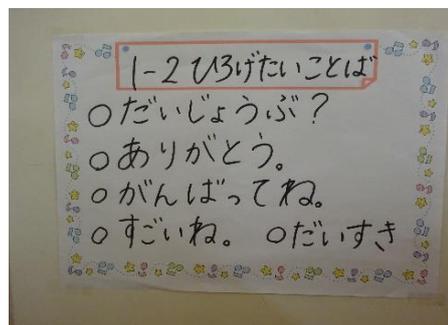
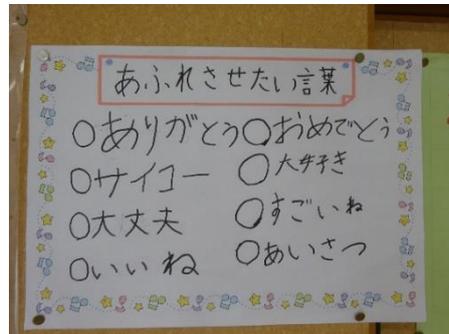
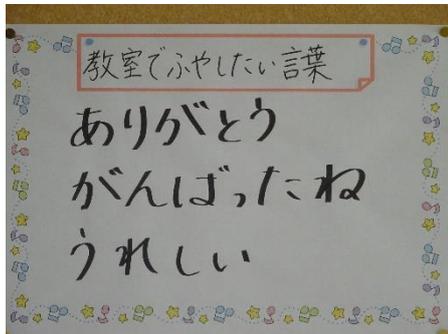
ハッピースマイルデーも今年度4回目になります。今回は清掃班ごとにクリスマスのかざりを作りました。限られた時間内に、班ごとに役割分担しながら、半分の大きさの模造紙を折り紙やペンを使ってかざり付けて、すてきなかざりを完成させることができました。完成したかざりはハロールーム前に掲示してあります。



◎人権週間 12月4日(月)～8日(金)

期間中、各クラスでは人権集会が行われ、「ハンセン病啓発動画」の視聴や感想の交流を行いました。また、各クラスで「クラスで広めたい言葉」を考え、掲示しました。廊下に掲示してある「言われてうれしい言葉」の中から、学級で使っていききたい、広めていききたい言葉を掲示し、子どもたちが意識して使えるようにすることが活動の目的です。

お昼の校内放送で6年生による人権作文朗読も行われ、子どもたちは真剣に聞いていました。



◎ハッピースマイルデー「いっしょに遊ぼう」 12月11日(月)

5回目のハッピースマイルデーは、清掃班ごとに考えた遊びをしました。校庭で元気いっぱい鬼ごっこやドッジボールをしたり、各教室でフルーツバスケットやジェスチャーゲームをしたりしました。6年生は、「班のみんなが楽しめる遊びをしたい」という思いのもと、けんかやけががないように遊べるかどうか不安に感じながらも、様々な配慮をしながら活動しました。その結果、子どもたちからは「楽しかった! またやりたい!」などの声も多く聞こえてきて、その言葉を聞いた6年生も「やってよかった」という充実感をもつことができました。

